

宍道湖流入・流出水調査月報

(平成12年12月期)

水質概要

12月の水温は、表1に示すとおり平年値(上層8.8、中層9.1、下層9.3)に比べてほぼ平年並の変動であった。図1に示すように、12月の水温変動は5?15で変動しており、中旬から下旬にかけて徐々に低下していた。15psu以上の高塩分水の流入時に5以上の水温上昇が見られた。また、水深による顕著な差異は見られなかった。

12月の塩分は、表1に示すとおり平年値(上層6.8psu、中層8.4psu、下層9.2psu)に比べて、上層、中層、下層ともに若干高い値を示していたが、ほぼ平年並の変動が見られた。また、12月においては15psu以上の高塩分水の流入は20日観測された。12月は、気圧低下と高塩分水の流入に顕著な関係が見られた(図2参照)。とくに、顕著な変動は12月5日、20日、23日に見られ、気圧低下とともに長時間大橋川において高塩分水が確認された。

12月の溶存酸素濃度は、表1に示すとおり上層・中層・下層ともに8.9mg/lと概ね4.0mg/l以上の高い溶存酸素濃度の変動が見られた。(平均値:上層8.9、中層:-、下層:8.9mg/l)。11月と比較して顕著な貧酸素水の流入は見られなかった。

図1に示すように、15psu以上の高塩分水の流入時に溶存酸素濃度の低下が見られた。とくに、顕著な変動は12月5日、20日、23日に見られた。

表1 12月期の水質概要

		水温 ()	塩分 (PSU)	溶存酸素 濃度 (mg/l)
上旬	上層	11.6	6.5	7.9
	中層	11.9	7.5	7.1
	下層	11.9	8.5	7.1
中旬	上層	9.4	8.7	9.4
	中層	-	-	-
	下層	9.9	11.1	10.3
下旬	上層	7.7	8.1	9.2
	中層	8.6	11.1	9.3
	下層	8.6	12.2	9.2
月間平均 (12月)	上層	9.5	7.8	8.9
	中層	-	-	-
	下層	10.1	10.7	8.9

(水温・塩分平均値は、島根大学 宍道湖・中海水質月報、1994年4月より引用)

(表の中の数字は、平均値を示す)

水質

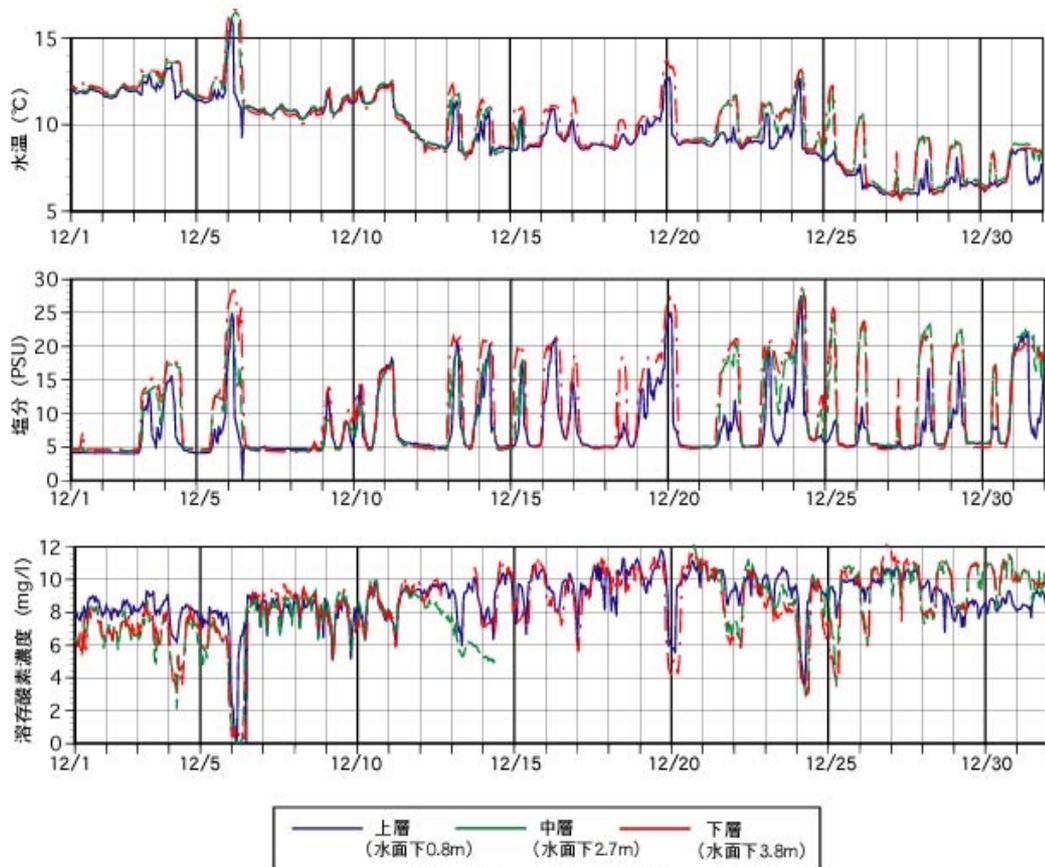


図1 水温・塩分・溶存酸素濃度の時系列変化

気象概況

12月は、表2に示すとおり、平均気温7.4（平年値6.4）であり、若干高い値での変動であった。

図2に示すように、12月の顕著な気圧変動は、12月5日、20日、23日に急激な低下が見られたものの全体として1000hPa以上の変動であった。平均気圧1015.3hPaは、平年値（平年値1020.6hPa）と比較して若干低かった。

表2に示すとおり、12月の日射量は、0.0336MJ/m²であり、11月と比較して低い値を示していた（11月平均値：0.0360MJ/m²）。

12月の風向・風速は、平均風速3.4m/sec（平年値3.6 m/sec,西風）であり、平年並であった。

表 2 12 月期の気象概要

	気温()	気圧(hPa)	風速 (m/sec)	風向	日射量 (MJ/m2)
上旬	8.9	1015	2.3	南南東	0.0377
中旬	7.9	1017	3.6	南西	0.0335
下旬	5.6	1014	4.1	南東	0.03
月間平均 (12月)	7.4	1015	3.4	南南西	0.0336

(平年値は、平成 11 年気象の暦 (山陰版) (財) 日本気象協会中国センターより引用)

(表中の数字は、平均値を示す)

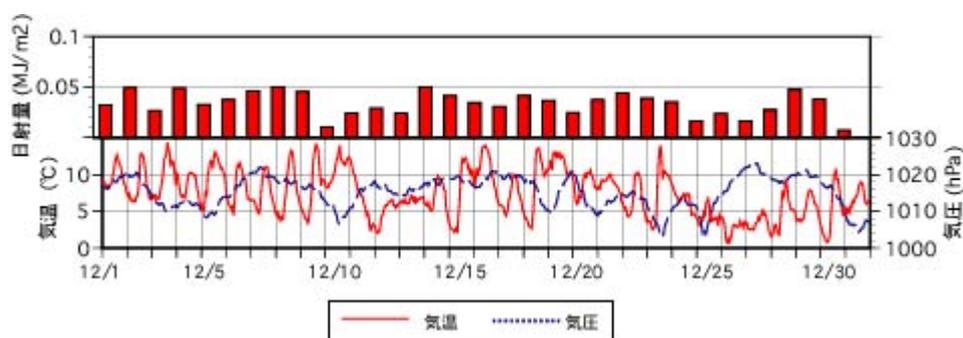


図 2 気温・気圧・日射量の時系列変化

流況

12 月の平均流速は、上層 17.4cm/sec、中層 6.0cm/sec、下層 6.9cm/sec であった。12 月の東方流速は、全体的に宍道湖から中海に向かう流れが卓越していた。

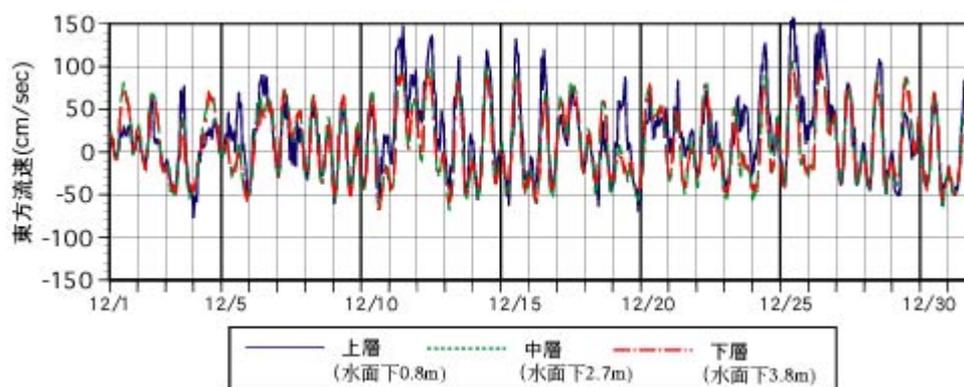


図 3 東方流速の時系列変化